



第 15 回 ASEAN+3 会合
2012 年 8 月 29 日
カンボジア・シェムリアップ

共同声明（仮訳）

1. 2012 年 8 月 29 日、カンボジアのシェムリアップにおいて、ASEAN 経済大臣並びに中華人民共和国、日本及び大韓民国の経済大臣との第 15 回会合が開催された。会合では、カンボジアのチャム・プラシット商業大臣、中華人民共和国の陳徳銘商務部長、日本の枝野経済産業大臣及び大韓民国のパク・テホ貿易大臣が共同議長を務めた。
2. 閣僚達は、世界的な経済情勢、及び ASEAN 及び北東アジアの経済発展について意見交換を行った。閣僚達は、東アジア地域における経済統合の進展を歓迎し、ASEAN とプラス 3 の国との貿易は、世界経済の不確実な状況に関わらず堅調であることを評価した。2011 年において、総貿易額は、26.2%増加して 6782 億米ドルとなった。輸出及び輸入はそれぞれ 34.9%、18%増加した。プラス 3 の国との総貿易額は、2011 年における ASEAN の総貿易額の 28.4%の割合を占めた。
3. プラス 3 の国から ASEAN への海外直接投資は、引き続き増加傾向にあり、2010 年の 318 億米ドルから 2011 年には 412 億米ドルと 29.5%増加した。プラス 3 の国からの海外直接投資は、2011 年における ASEAN への総海外直接投資のほぼ半分（46.2%）を占めた。
4. 閣僚達は、東アジア・ビジョン・グループ（EAVG）II による、10 年後の ASEAN とプラス 3 の国の協力の方向性の検討が進展していることを留意した。閣僚は、2012 年の第 15 回 ASEAN・プラス 3 首脳会合で首脳へ提出される EAVGII の最終提言への期待を表明した。
5. 閣僚達は、本年内の交渉立ち上げを目指している、日中韓 F T A 及び東アジア地域包括的経済連携（R C E P）の双方について、準備作業の進展を歓迎した。閣僚達は、これらの取組は域内の経済統合の深化に大きく貢献するものであるとの考えを共有した。

6. 閣僚達は、中国が 2012 年 11 月に北京で開催することを提案した「ASEAN+3 か国による経済・技術開発区ワークショップ」を歓迎した。このワークショップは、経済・技術開発区の実施により、域内の経済開発を促進するための政策提言を分析し、ASEAN10+3 か国での協力の機会を模索するものである。
7. 閣僚達は、東アジアビジネス・カウンシル（EABC）との対話において建設的な議論を行い、地域においてより良くかつ早い発展を継続し、経済統合を促進させるために協力を強化させるべきとの提言を評価した。

参加閣僚リスト

1. リム・ジョク・セン第2外務貿易大臣、ブルネイ
2. チャム・プラシット商業大臣、カンボジア
3. 陳徳銘・商務部長、中国
4. ギタ・ウィルヤワン商業大臣、インドネシア
5. 枝野幸男経済産業大臣、日本
6. パク・テホ通商交渉本部長、韓国
7. ナーム・ヴィニャケート商工大臣、ラオス
8. ムスタパ・モハメド国際貿易産業大臣、マレーシア
9. ティン・ナイン・テイン国家計画経済開発大臣、ミャンマー
10. グレゴリー・ドミンゴ貿易産業長官、フィリピン
11. リム・フンキャン貿易産業大臣、シンガポール
12. ブンソン・テリヤピロム商業大臣、タイ
13. ブー・ファイ・ホアン商工大臣、ベトナム
14. スリン・ピッサワン事務総長、ASEAN事務局